令和元年９月吉日
京都市小学校道徳教育研究会
会　長　　近藤　清美
研修部部長　保本　貴之
研修副部長　居林　良和

小学校道徳教育夏季研修会報告

季節では夏の終わりと申しながら，まだまだ暑い日が続きます。皆様におかれましては，ますますご健勝の程お喜び申し上げます。さて，８月６日（火）に開催しました，「小学校道徳教育夏季研修会」には，約 40 名の先生方にお越しいただき，様々な視点から研鑽を深めることができました。今年度の研修会は，２部構成で行い，１部は部会の実践発表，２部は授業力向上を意識したグループ協議・交流を行いました。研修会の様子をとりまとめましたので，ぜひご一読いただき，今後の教育活動の参考にしていただければ幸いです。

実践報告「豊かな表現力を身につけるために」

嵐山東小学校
兵藤　幸子教諭（高学年）

１人１人が考えや思いをもっているのに，豊かに表現できないのはどうしてかなぁ…〈児童の実態から，研究主題と具体的な方法を考察しましょう！〉

〈道徳科の時間で大切にしていること〉

①児童が「解決したい」と思える，問題意識をもてる<u>導入の工夫</u>

②自分の考えを豊かに表現するための<u>交流場面の設定</u>

③今までの自分を振り返り，<u>実生活とつながる発問や展開の工夫</u>

「たのむよ，班長」（５年生教科書「生きる力」）あらすじ

グループ対抗で「ポイントラリー」をすることになりました。先生は「協力を大切にするように」と伝えつつ，正答分がポイントになること，時間以内にゴールをしないと減点になること等のルールの説明をします。大和さんはリーダーとなり，みんな心を一つにスタートをしますが，「早く行って減点にならないようにしよう」と急ぐグループと，「きちんと正答を重ねていこう」と注意深くいくグループに分かれてしまいます…。

導入

集団の一員として、「うまくいかないな」「どうしたらいいかな」と悩んだことはありませんか。

あったあった！　よくあるよ。どうしたら解決できるんだろう。今日の授業で分かるかな？

中心発問

〈交流場面の設定〉
みなさんが大和さんならどうしますか。

※「自分だったら…」を考え、実生活を回想させることで各々が自分事として捉え、表現することをねらう。

思考の切りかえ

揺さぶりの発問
・頑張らないといけないのは大和さんだけかな？
・進，優花は頑張ってなかったの？
・それぞれが頑張っているのではダメなのかな？

方法論など考えに偏りが見られる，考えさせたい価値に意識を向けさせるために？

何を大切にしたら「協力」ができるかな？
（価値への理解を経て、自分たちの「協力」へと意識を向ける）

集団の一員として、「うまくいった」「絆が深まった」という経験はありますか。（きっとコレがあったから…）

実践報告　道徳的な問題を「自分事」として考える授業づくり
ー「共通解」から「納得解」形成へー

問題解決的な道徳の学習って？

児童生徒一人一人が生きるうえで出会うであろうさまざまな問題や課題に対して，主体的に対処しようとする資質・能力を養うために「問題解決的な道徳学習」が大切です。ＣＳＳ（クラスルームソーシャルスキル）のような「こんな時，どうする？（問題解決・コミュニケーションスキルの習得）」ときちんと区別・整理をしてくださいね。

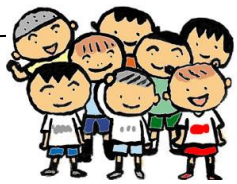
梅　津　北　小　学　校
岸本　知可教諭（中学年）

道徳科における「問題解決的な学習」を構築するためには？

○様々な問題を「他人事」としてでなく「自分事」としてとらえる。

○道徳的な問題や道徳的価値に関する問題に向き合い，「自分との関わり」としてとらえる。

児童が「自分事」として考えたくなるポイント



導入　児童が「問題意識」をもてるめあてを設定する

展開　「当事者意識」をもって追及する

終末　協同思考活動による「共通解」から「納得解」形成へ

「共通解」と「納得解」って？

「共通解」とは，主題として設定したねらいに対して，児童が一生懸命思考し，学級全体で共通理解できることです。しかしそれだけでは，その道徳的価値が「頭で分かったこと」＝「知識理解」にとどまってしまいます。自分なりに発展させて考えたり解決したりした，「自分なりの結論」＝「納得解」まで，子ども自身の道徳的価値の自覚へ高めなければなりません。「共通解」を「自分事」として受け止め，どう生かしていけばよいのだろうと考えること（納得解）が必要です。

共通解（例）

「いじりといじめ」のお話で学習をして，「いじり」も「いじめ」も，相手の気持ちを考えずに人を傷付けてしまうことだからいじりもいじめも同じだめなことだと思いました。

納得解（例）

ぼくは人の間違いを笑うことがあって，それは相手にとっては嫌だけれど，それを考えずに笑ってしまったから，次からは人が間違えても相手の気持ちを考えて生活しようと思いました。

我々教師が「納得解」を意識できるように…！

・「共通解」だけでは，「知識」の獲得にとどまる。

・教師が意図的に「納得解」を目指すことで，児童が「自分事」としてものごとをとらえるきっかけになる。

※研修等で，ワークシートを「共通解」「納得解」に分類するなどして，共通理解をはかるのもオススメ。

育成部会，低学年部会の報告は１０月８日（火），総合教育センターにて「道徳を楽しく勉強しようの会」の発表でご報告します。ぜひご参加ください。

「わたしの失敗談」ー 道徳科の授業で　やってしまった！ ー

ノートを見て回った時に，子どもの考えをしっかり把握してないまま指名して，（フォローもできず）子どもに気まずい思いをさせてしまったことがありました。ちゃんとその子の思いに寄り添っていれば…。

絵本で「自作資料」を作ろうとした際に「トマトはどんな気持ちだったと思う」という中心発問を…。今から考えると「トマトの気持ち」なんて疑似体験できるものではないのに子どもたちは一生懸命考えてくれていました。指導要領解説を読み，「適切な内容項目（生命尊重）」でやればよかったなあ…。

「敗」け（間違い）を「失」って一歩，先生に近づいたんですよ（参加者の言葉）

☆子どもたちがすごく疲れている時間帯に道徳の時間を入れてしまった！（児童は半日で必死に…）

☆となりの学級が元気いっぱいに音楽の学習をしている横で授業をすることに。「ふふふーん♪」と鼻歌を歌いながらの道徳に…。

☆しっとりした授業ができ，オルゴールをかけてふりかえり…と思ったら音量ミスで爆音！最後のたった１つのことでもったいない…。

「役割演技に挑戦しよう！」と，小道具にお面，活動の場…準備ばっちりで臨んだのに，１人目に当てた児童はまさかの「フリーズ」！？「信じて待とうか」「他の児童にやってもらって最後に指名しようか」「ああ，どうしたらいいの！」…これ以降役割演技がトラウマに…。けれど３年後，もう一度挑戦！「前の失敗を生かして」を意識して臨み，納得のいく授業にできました。

自分の好きなものや得意分野を生かした自作資料をつくり，道徳の授業に臨むことは悪いことではありません。「児童に考えさせたいこと（価値・ねらい）は何か？」「そのためにどんな発問にすればよいか」を検討・精選する必要があります。１回１回の授業で「ねらい」と「発問」をよく考えてくださいね。ぼくも電車や数名なスポーツ選手をテーマにして…。

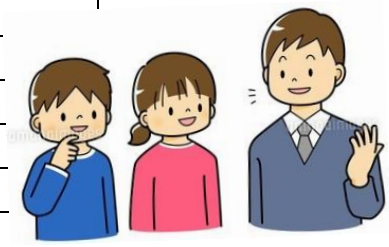
「研究員でも失敗をするのか」「なるほど！気をつけよう！」と思える時間になったのではないでしょうか。

交流会 ー 皆様のお悩みや不安をズバッと解消！ ー

日頃，道徳の授業をする際に悩んでいること・困っていることを事前にうかがい，「話し合いたい」「アドバイザーに聞きたい」と思うことを選び，グループ交流しました。最後はグループごとに話し合ったことを発表・紹介し合い，学びや気づきを共有し合うことができました。

【話し合いたいテーマ一覧】

道徳の教材研究 （時間がない中，どうしていますか？）
日頃，教室で行っている道徳性あふれる取組
子どもたちが，主体的に話し合う工夫
「やってよかった！！」 学習形態の工夫
この自作教材　最高！！！
学校の先生に道徳教育を広げるために
板書には全部書いてられない！整理して書く工夫
子どもたちの思いが重なり合う，高まり合う話合い活動の充実（発問・切返しの発問）
総合育成面から考える道徳の授業について（授業で行っている工夫）
思考ツールの種類や使い方とその効果，留意点
「一般化（展開後段）」の発問や手だて
最後の一言（終末）どうしてる？
書くことが苦手な児童への配慮と支援



子どもも，教師も，「楽しいな」と思える道徳の授業を一緒に考えていきましょう！